

人口減少社会におけるICTの活用による教育の 質の維持向上に係る実証事業について

文部科学省 生涯学習政策局
情報教育課

まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成26年12月27日閣議決定）

平成29年度要求額 114百万円(H28予算額 136百万円)

地域産業の活性化や地域サービスの維持・向上、柔軟な就労環境の整備を実現するため、距離や時間等の制約を克服し、地域の創意工夫を生かしたイノベーションや新産業の創出を可能とするICTの一層の利活用を、医療・教育・雇用・行政・農業など幅広い分野で推進する。特に、中山間地域や離島等においても良質な医療を効果的・効率的に提供していくため、遠隔医療を推進する。また、遠隔教育等の教育におけるICTの活用を推進する。

実証研究(平成27年度～平成29年度)

<学校教育におけるICTを活用した実証研究>

遠隔地間における双方向型の合同学習を実施



- <小規模学校の課題>
- ・集団の中で自己主張したり、他者を尊重する経験を積みにくく、社会性やコミュニケーション能力が身につきにくい
 - ・児童生徒の人間関係や相互の評価が固定化しやすい
 - ・切磋琢磨する環境の中で意欲や成長が引き出されにくい 等

取組

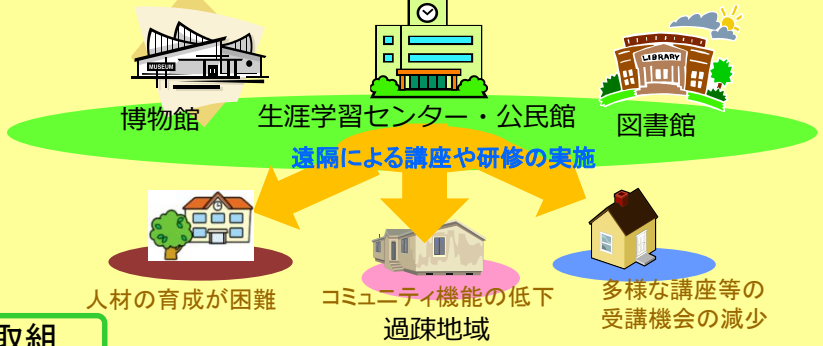
学校統廃合の困難な小規模学校に対して、ICTを活用して他の学校と結び、児童生徒同士の学び合い体験を通じた学習活動の充実などを図るための実証研究を行う。

成果

主要5教科を含めて、年間を通してICTを活用した合同学習等の指導方法の開発や、効果の検証を行い、その成果を全国に普及する。

小規模校のデメリットの最小化を図る

<社会教育におけるICTを活用した実証研究>



取組

ICTの特長を生かして社会教育の維持向上と地域コミュニティの活性化を図るため、遠隔地間における講座や研修を行うなど、ICTを活用した社会教育の実証研究を行う。

成果

遠隔による講座や人材養成を通じて、地域課題の解決を図る社会教育プログラムの開発を行い、広く全国に普及をする。

地域コミュニティ機能の存続及び活性化

遠隔学習等活用事例に関する調査研究

遠隔学習を導入・実践するに当たり、参考となる初歩的なノウハウ(遠隔学習に関する事前準備や指導方法、及びICT機器の特長を生かした活用方法など)について、実証研究の中間成果のとりまとめ報告会を開催し普及する。更に、本実証研究の実効性を高めるため、実証内容について検証を実施し、事業内容の改善を図る。

人口減少社会における学校教育・社会教育の質の維持向上を図る

H27(1年目)

ICT機器等の導入方法及び遠隔授業の試行的実施

初歩的なノウハウの提供

実施教科

2教科以上

指導モデル

1教科5事例(※)以上

※当該授業の指導モデル

H28(2年目)

実践の蓄積

ICTを活用した遠隔授業の実施方法等について実証

実施教科

3教科以上

指導モデル

1教科1事例(※)以上

※当該教科の単元単位の指導モデル

(例)算数科 わり算(全10時間)

H29(3年目)

モデル事例の作成

これまでの取組を踏まえた遠隔授業の実施方法や機器の配置の在り方などについて取りまとめ

実施教科

5教科以上

指導モデル

通年での指導モデル(※)

※年間指導計画の中で、遠隔による授業が効果的と思われるものを、実証校において判断・実施

2年目の授業実施のスケジュール

教育委員会 (連携教育委員会)	実証校	実施学年・教科(2年目)	訪問日時
富山県南砺市教育委員会	利賀小、上平小、利賀中、 平中	小4-6：社会、算数、道徳 中1-3：社会、数学、道徳	11月22日(火)
長野県喬木村教育委員会	第一小、第二小	小5：算数、小4：国語、小5：総合	11月25日(金)
岐阜県教育委員会 (本巣市)	外山小、根尾小、本巣小	小5：総合、算数、社会	11月30日(水)
岐阜県白川町教育委員会	白川小、白川北小、蘇原 小、黒川小、佐見小、白川 中、黒川中、佐見中	小1,2：生活、社会、小5,6：外国語、社会、中1,2：外国語、社会 小・中：国語、並行読書	9月29日(木)
奈良県教育委員会 (五條市、御杖村、曾爾村、 川上村、東吉野村)	五條市野原小、五條市阪 合小、御杖小、曾爾小、川 上小、東吉野小	阪合部・野原小4-6：算数、社会、総合 御杖・曾爾小4-6：国語、道徳、総合 川上・東吉野小2：生活、小3：国語、小6：算数	11月29日(火)
山口県萩市教育委員会	佐々並小、明木小	小3-6：算数、国語、道徳	11月22日(火)
徳島県三好市教育委員会	下名小、政友小、山城小	小5,6(複式)：国語、算数、図工	11月28日(月)
愛媛県西条市教育委員会	田滝小、徳田小、田野小	小3：国語、小5,6：社会、特別活動(道徳)、外国語、小1-6：学 活	12月6日(火)
福岡県柳川市教育委員会	皿垣小、有明小、中島小、 六合小、大和小、豊原小	小4-6：社会、総合、学活	11月24日(木)
長崎県教育委員会 (長崎市、大村市)	西坂小、高島小、高島中、 梅香崎中、黒木小、大村 小	長崎市：小6；外国語、中2；道徳、数学 大村市：小3,4,5,6年(複式)；国語、算数、外国語	10月17日(月)～ 10月18日(火)
熊本県高森町教育委員会	高森東小、高森中央小、 高森東中、高森中	小1-6：国語、社会、外国語、高森ふるさと学、道徳 中1-3：英語、社会、技術・家庭、高森ふるさと学、道徳	11月25日(金)
鹿児島県教育委員会 (徳之島町)	母間小、花徳小、立山小	小3-6(3,4,5,6年は複式)：算数、道徳、社会	11月18日(金)

【成果】	<ul style="list-style-type: none">○ 学習効果の向上<ul style="list-style-type: none">・相手を意識した発表スキルの育成ができる。・多様な考え方を知ることができる。自校だけでは気付きにくい考え方にたどり着くことができる。思考の活性化。・大人数の中で発言したり、質問したりできる経験を積める。○ 人間関係の広がり<ul style="list-style-type: none">・一つの町の同学年の仲間であるという意識が生まれる。○ 教員の授業力向上<ul style="list-style-type: none">・教員が普段の授業を見直す機会になる。・教員が互いの授業に入り込むことで、教員の授業力向上につながる。
【課題】	<ul style="list-style-type: none">● 授業実践上の課題<ul style="list-style-type: none">・行事等で授業進捗がずれる場合、調整が難しい。・授業の準備のために時間がかかる。（授業の打合せ、ワークシートの作成・共有）・予定していたよりも授業に時間がかかることが多い。・相手校の子供たちの授業でのつまづきなどが理解しづらい。（双方向のコミュニケーションが困難）・相手校の子供の発言に気付かないことがあった。・相手校の児童生徒の授業態度やノート指導、話し合い活動の様子などの観察や見届け、評価が難しい。● 機器やネットワークの課題<ul style="list-style-type: none">・映像や音声の遅延が生じる。（授業時間の超過に影響。遠隔地間のコミュニケーション上のルール設定が必要。）・回線の利用時間による通信容量が変化し、不安定になる。・突然機器がフリーズし、授業が止まる。・特別教室に遠隔システムが設置されていることが多く、子供たちが教室から移動する必要がある。